

支所だより

各総合支所管内での身近な出来事や話題などを毎月お知らせするコーナーです。

東予総合支所

〒799-1394 周布349番地1 TEL0898-64-2700 FAX0898-65-4363

歴史的な価値も景勝もすばらしい、永納山

今からおよそ1300年前に築かれた「永納山城」。この山城跡は、東予地域の北側（楠河地区）に存在し、西に来島海峡を、東には道前平野と燧灘、さらに山側には背比べをしているかのようにそびえる石鎚山を一望できるという素晴らしい位置にあります。造られた時代が「古代」であり、日本でも最古のお城の部類に入る点と古代山城が非常に数の少ない遺跡であるという点などから全国的に注目されており、平成17年7月には国史跡に指定され、伊予の古代史、とりわけ東予地域の古代史の解明に大きな役割を果たすものと熱い期待が寄せられています。

その様な中、永納山について関心を深めるための啓蒙活動や市の発掘調査及び保存整備計画の作成などに協力することを目的とし、地元の人を中心に平成17年5月に「永納

山古代山城跡の会（会長武田斉氏）が発足しました。現在の会員数は約60名で、これまでに地元の小中学生を対象とした勉強会の開催や永納山ウォーキングの開催協力など、地域市民の理解を深めてもらおうと日々活動を続けています。

そしてこの史跡が一刻も早く、例えば「歴史を学び四季の景勝を楽しむ公園」などとして整備されるよう根気よく活動していくことにしています。本会に関心のある方は、ぜひ事務局（楠河公民館内）までご連絡ください。



永納山城跡での説明会の様子

丹原総合支所

〒791-0592 丹原町池田1733番地1 TEL0898-68-7300 FAX0898-68-4769

「伝統を守り、後世へ踊り継ぐ」

《田滝お簾踊り保存会》

昭和40年4月に愛媛県の無形文化財の指定を受けたお簾踊りは、丹原町田滝地区に伝わる雨ごい踊りです。

お簾踊りの始まりは、今から400年以上も昔のこと。日照りが続き村が大変な干ばつに襲われた時、村人たちが田滝の黒滝神社で雨ごい踊りをしていると、風もないのに本殿の御簾（みす）が動いて稲妻が走り、大粒の雨が降り始めました。このことから踊りがお簾踊りと名づけられました。踊り手は、そろいの浴衣を着て、そろいの扇子を二両手に持ち、太鼓と音頭、はやしに合わせて、蝶（ちょう）のはばたきのように扇子をひらめかせる踊りです。

お簾踊りの保存についての意識は高く、保存会の会員を中心に、『小さい頃から踊りを習い、愛着のあるお簾踊り

を後世に伝えなければならない。無くしてはならない』と考え、熱意ある継承活動を行っています。また、後継者の育成をめざし地元の小学生に、毎年6月から週1回の割合で踊りや太鼓を教えており、地区をあげて伝統芸能を継承しようと考えています。

そのほか、地元の文化会館で踊りを披露するなど、多くの方々を知っていただくよう積極的に活動を行っています。（広報さいじょう平成18年8月号のふるさと探訪にも掲載）



田滝小学校での踊りの披露

小松総合支所

〒799-1198 小松町新屋敷甲496番地 TEL0898-72-2111 FAX0898-72-4048

「ふるさとを想う心で夏祭り」

《石根村おこし実行委員会》

8月11日(土)に石根小学校グラウンドで「石根ふれあい広場」が開催されました。これは、石根村おこし実行委員会が地域の活性化を図るために毎年企画している夏祭りで、今年も地元住民や企業が協力してかき氷や焼きそばなどの出店を出したり、石根保育所の子どもたちによる踊りや空手の演武、カラオケなどがステージで披露されたりしました。

石根村おこし実行委員会は、青年団に代わるものとして地元の有志が集まり、活動している団体です。実行委員会の方は「ふるさとを大事にしてほしいという思いを込めて開催してきたふれあい広場も、今回で20回目となりました。お盆前に帰省する人たちも参加できるように、毎年第2土曜日に開催しています。地域の人も帰省した人も気軽に集

まって、懐かしい顔ぶれに囲まれながら、ふるさとの一夜を楽しんでもらえたらと思っています。合併して行政も大きくなりましたが、

今後も地域での交流の場を作っていきたいです。実行委員会のメンバーも高齢化していますので、新規会員募集中です！」と噴出す汗をぬぐいながらさわやかに話してくれました。



石根ふれあい広場の様子

